

JR東日本テクノロジー総合研修センター完成

JR東日本のグループ企業であるJR東日本テクノロジーは、埼玉県伊奈町に新たな総合研修センターを整備、活用開始として使用するグループ初の機能を有する。設計・施工を東鉄工業が担当した。



メッセージ

JR東日本テクノロジー株式会社
本社経営戦略本部 人材育成部

中楚 浩一郎

当社は、JR東日本グループにおける唯一の車両メンテナンスおよびその基地設備の総合エンジニアリング会社として2015年4月に発足し、JR東日本の新幹線と在来線、また公民鉄事業者の地下鉄・新都市交通システム等の車両の検査修繕、またこれに必要な設備や試験装置等の設置や維持管理を一貫して受託し、お客さまからのご要望にお応えしております。

技術技能維持向上と持続性ある整備力を

今回、JR各社の車両系子会社として初めて、実物車両を教材として使用する自社独自の大規模な研修施設を開設することで、自由度を持った柔軟な教育計画と実施が可能となりました。とりわけ若手社員には自身の成長やステップアップの機会が身近にあることが感じられ、安心して業務に打ち込むことができるのも大きな特徴の一つです。

今後、働き手不足時代になれば、教える側の人材やノウハウの分散配置も難しくなることが考えられます。将来を見据えた指導担当者不足の解消をねらい、指導担当者自身に「指導のスキルそのもの」「伝え方」の各種手法等を組み込んだ研修を2年前から実施しており、本研修の受講者は自職場へ戻った後も指導する機会が与えられ、自主的な勉強会を開催するなど多くの経験を積み重ねることにより、その成長が顕著に伺えるようになってきました。

当研修センターの活用により、確実な技術技能の維持向上はもちろんのこと、車両や設備のメンテナンスをサステナブルに行える人材育成を進めていきます。

実車両を教材使用する大型教育施設

設計コンセプト

鉄道安全の本質と重要性を体感できる設計

本計画では、必要面積に基づきながら無駄を省き、コンパクトで効率的な平面構成を実現しました。各エリアは機能性を重視して整理し、フレキシブルなレイアウトを採用することで、業務や学習の流れがスムーズに展開できるよう配慮しています。さらに、2階の廊下から1階の実習場を見渡せるプランを取り入れ、研修の臨場感や安全教育の実践性を高める工夫を施しました。空間全体では、鉄道安全の本質とその重要性を体感できる設計を追求し、利用者が安全意識を自然に深められる環境を提供します。

また、環境条件の良い南側にはラウンジを配置し、仲間同士の自発的な交流や情報共有を促進しながら、心地よい休憩ができる場を目指しました。さらに、屋上には太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーを活用することで、環境負荷の低減と持続可能な施設運営を実現しています。これにより、学びの場としての機能性に加え、社会的責任を果たす取り組みも設計に反映しました。

これらの要素を融合させることで、機能性・快適性・安全性を兼ね備えた空間を創出し、学びと業務の質を高める計画を心掛けました。

東鉄工業株式会社

建築本部 建築設計・エンジニアリング部 谷野岳人

施工のポイント

現場で培う技術とシステム駆使する管理を経験

【実務を担当して】

入社9年目の中間近な時期は、自らが手がけた仕事の成果に、これまで学んできた実務が活かされているかどうか試される時期でもありません。今回、製作図チェックや安全をはじめとした品質、工程管理など全般にわたって現場を任せられ、責任の重さをあらためて感じ、安全や高品質のために身を引締めるとはこういうことなのだ緊張感をもって仕事に向き合いました。

鉄道車両整備研修センターという建物は実際の車両を入れることを想定した吹抜け大空間をメインとする階高・空間のある現場となり、墜落・転落事故を防止するために職長、作業員全員と意思疎通を図り、慎重かつ迅速な作業を展開しました。1階床には建築では普段経験することのない車両引き込みのためのレール敷設も待ち受けており、綿密な打ち合わせ・精度の高い施工管理を行いました。

東鉄工業東京建築支店 工事部 渡部 慧舞

【仕事を総括して】

事業主様は当社と同様JR東日本のグループ企業であり建築全般を担当した東京建築支店になり、レール敷設などでは当社線路部門との共同作業時期も存在しグループ企業の一員として恥じない成果を目指しました。

その一環として、若手技術者を育てる社内の命題があります。現場を幾度も経験して培う技術と、新しいシステムやソフトを駆使した管理手法など両方を手がけられる過渡期の世代が今の若手達です。大事なことは、現場経験値を得るために問わねばならない事が必ずあり、経験者世代は風通し良く対話の出来る環境をつくりながら常に先に立って仕事をさせていくことだと考えて仕事を進めて行きました。そういったコミュニケーションがこの現場では上手に機能し工期内で高品質な建物をお引き渡すことが出来ました。この工事の経験が若手技術者の自信に繋がるとを願っています。

東鉄工業東京建築支店 所長 鈴木 雅人



3階 研修室



3階 ラウンジ



3階 事務講師室

- 工事名称: JR東日本テクノロジー総合技術研修センター新築工事
- 工事場所: 埼玉県北足立郡伊奈町小室7132-1
- 建築主: JR東日本テクノロジー株式会社
- 設計: 東鉄工業株式会社
- 施工: 東鉄工業株式会社
- 敷地面積: 5,150.50㎡
- 構造・規模: S造地上3階建て。建築面積2,650.95㎡、延床面積5,892.21㎡
- 工期: 2024年10月～2026年2月

外観と一部内観写真提供・JR東日本テクノロジー

エントランス

1階実習エリア

1階技能実習室

屋外プラットフォーム軌道

|| 設計・施工 ||



東鉄工業株式会社

東京都新宿区信濃町34
電話 03-5369-7698

|| 電気設備工事 ||



日本電設工業株式会社

北関東支店 さいたま市北区吉野町1-399-5 電話 048-662-8811

|| 空調・衛生設備工事 ||



芝工業株式会社

東京都新宿区山吹町130 電話 03-3268-1165

■ 左官工事
株式会社ウドネ
横浜市磯子区森1-5-21-806 電話 045-753-8511

■ 防水工事
株式会社荇田防水
神奈川県大和市南林間3-8-5 電話 046-272-7477

■ 外構工事
鹿島道路株式会社 関東支店
さいたま市浦和区高砂4-6-9 電話 048-872-8001

■ 鉄筋工事
国井興業株式会社
埼玉県熊谷市妻沼5-90 電話 048-567-0921

■ ガラス工事
小金澤硝子株式会社
東京都大田区池上3-23-5 電話 03-3752-1151

■ シャッター・鋼製建具・トイレブース工事
三和シャッター工業株式会社
東京都豊島区東池袋4-5-2 電話 03-4333-0888

■ 嵩・土工事
白石工業株式会社
さいたま市桜区田島9-12-10 電話 048-864-1721

■ 造作・LGS・PBボード工事
株式会社白戸工務店
埼玉県ふじみ野市西原1-6-3 電話 049-261-4673

■ 金属工事
東新工業株式会社
東京都墨田区東向島3-37-7 電話 03-3617-7069

■ 発泡ウレタン吹付断熱工事
東洋インダストリー株式会社
川崎市高津区宇奈根716 電話 044-811-5765

■ 杭工事
株式会社トーヨーアサノ
東京都新宿区新宿5-13-9 電話 03-3356-3171

■ 土工事
株式会社豊信トラスト
埼玉県幸手市2-11-20 電話 0480-31-8124

■ 塗装工事
三樹コーポレーション株式会社
東京都足立区花畑4-39-21 電話 03-5851-8862

■ アルミニウム製建具工事
YKK AP株式会社
東京都墨田区亀沢3-22-1 電話 03-5610-8351

祝 完成